

# 岩手県陸前高田市「土地活用に資する先導事業の実現に向けた取組の推進」

## 目的・背景

### 土地活用に資する先導事業の検討【テーマ①】

### 脱炭素施策や多様な主体と連携したまちなかビジョンの実践【テーマ②】

- 土地活用やまちづくりの環境が充実してきたが、土地活用率は55.6%※、マッチング数は75件まで上昇したが、まだ未利用地は多く残っている。
- これまでの取組を基盤とした先導的な土地開発事業を検討するとともに、脱炭素施策や多様な主体と連携したまちなかビジョンの取組を推進する。

※陸前高田市資料「土地活用促進の取組状況」令和6年11月現在のかさ上げ部と平地部の土地利用より

### 位置図



### 航空写真



## 取組とその効果

### 1 陸前高田型住宅展示場整備事業の実施に向けた官民連携の実現体制の構築

- 先進地視察等を経て賛同事業者と市の協力体制を確認し、実現体制が構築された

### 2 新たなテナント施設整備に向け、まちづくり会社が主体となる事業計画案を作成

- 関係者との協議を踏まえ、ほんまる(株)が事業主体となるテナント整備に向け協議に着手

### 3 まちなかビジョンの実践に向け、ホコテン計画の立案と情報発信や若者連携の推進

- ウォークブル施策としてホコテンを立案、地元合意形成を図り、次年度社会実験を予定
- SNS等を活用した情報発信を実践検証、中高生・大学生らの若者との連携を促進

### 取組の様子



住宅展示場視察と意見交換会

## 取組経過

7～8月 住宅展示場整備事業への賛同事業者による定例会議を実施

テナント施設整備事業に向けて、関係機関との協議調整

9～12月 住宅展示場先進地視察、展示場の敷地候補地の検討

脱炭素施策について、しみんエネルギーと意見交換

12～3月 住宅展示場整備事業、事業計画案規約案の作成

テナント施設整備に、ローカル10,000プロジェクトの活用を検討

新聞広告の他、SNS運用、有料広告を実践し効果を検証

### 取組成果



テナント施設整備イメージ

土地活用バンクのSNSを活用した情報発信

## 今後の方向性

- 建設業協会での部会設立の合意形成を進め、総会での設立に向けた準備を行い、令和9年度の住宅展示場のオープンを目指す
- ホコテンの社会実験(1ヶ月間)を実施した上で、令和8年度内の本格運用を目指し、まちなかをウォークブルエリアに設定する
- テナント施設の具体化、ビジョンの推進、多様な主体との連携等、まちなか会・ほんまる(株)等による民間主体のにぎわいづくりを継続



大学ゼミとの連携（流通科学大学連携講座の開催）